

平成 27 年度から平成 30 年度までの取組結果

【取組内容】 (1) 知事等との関係～監視・評価・政策立案・政策提言～	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
<p>①総合計画 「みえ県民力ビジョン」及び「みえ県民力ビジョン・行動計画」の策定並びに同行動計画の「成果レポート」の作成に合わせ、調査・審査を行い、知事への申し入れを行います。</p>	<p>①総合計画 「みえ県民力ビジョン・第二次行動計画」の策定に合わせ、調査・審査を行い、中間案に対しては 11 月 10 日に、最終案に対しては 1 月 27 日に、知事への申し入れを行い、分かりやすい県民指標の設定などが、反映されたうえで議決しました。また、「成果レポート」については、予算決算常任委員会及び行政部門別常任委員会で調査を行い、7 月 30 日に知事への申し入れを行い、部局間連携の徹底などの提言が反映されました。</p>	<p>①総合計画 平成 28 年版「成果レポート」については、予算決算常任委員会及び行政部門別常任委員会で調査を行い、8 月 9 日に知事へ申し入れを行いました。この申し入れについては、ポストサミットのさらなる展開などへ反映されました。また、平成 29 年度三重県経営方針については、2 月 15 日の全員協議会で議論した結果、「日本の文化聖地」についての記述を反映することができました。</p>	<p>①総合計画 平成 29 年版「成果レポート」については、予算決算常任委員会及び行政部門別常任委員会で調査を行い、8 月 4 日に知事へ申し入れを行いました。この申し入れについては、「三重の未来を拓く攻めの取組」などについて平成 30 年度当初予算編成に反映されました。また、平成 30 年度三重県経営方針については、10 月 3 日の全員協議会で意見のあった「安心を提供する医療・介護・福祉の充実」について最終案に反映することができました。</p>	<p>①総合計画 平成 30 年版「成果レポート」については、予算決算常任委員会及び行政部門別常任委員会で調査を行い、8 月 9 日に知事へ申し入れを行いました。この申し入れについては、「さらなる安全・安心の確保」などについて平成 31 年度当初予算編成に反映されました。</p>
<p>②当初予算 「当初予算」については、毎年度、予算決算常任委員会を中心に調査・審査を行います。</p>	<p>②当初予算 「当初予算」については、予算総括質疑を行うなど、予算決算常任委員会を中心に慎重に審議を行い、3 月 22 日に議決しました。</p>	<p>②当初予算 当初予算については、予算総括質疑を行うなど、予算決算常任委員会を中心に慎重に審議を行い、3 月 21 日に議決しました。なお、他会計からの繰り入れや職員給与の減額措置などについては、さまざまな議論がありました。</p>	<p>②当初予算 当初予算については、予算総括質疑を行うなど、予算決算常任委員会を中心に慎重に審議を行い、3 月 22 日に議決しました。なお、財源不足に対応するため、県債管理基金への積立の見送りや企業庁からの借入金の返済期間の変更など異例の対応には批判的な意見もありました。</p>	<p>②当初予算 当初予算については、予算総括質疑を行うなど、予算決算常任委員会を中心に審議を行い、3 月 15 日に議決しました。</p>
<p>③個別の行政計画 個別の行政計画については、改訂時期を見据え、基本的には、所管の常任委員会で調査・審査を行います。</p>	<p>③個別の行政計画 議決対象計画をはじめ、県政に重要な個別の行政計画について、調査・審査を行いました。 ※議決対象計画 ・「三重県観光振興基本計画」 ・「三重県新エネルギービジョン」 ・「三重県食を担う農業及び農村の活性化に関する基本計画」 ・「三重県人権施策基本方針」</p>	<p>③個別の行政計画 議決対象計画をはじめ、県政に重要な個別の行政計画について、調査・審査を行いました。 ※議決対象計画 ・「第 2 次三重県男女共同参画基本計画」</p>	<p>③個別の行政計画 議決対象計画をはじめ、県政に重要な個別の行政計画について、調査・審査を行いました。 ※議決対象計画 ・「第 2 次みえ歯と口腔の健康づくり基本計画」</p>	<p>③個別の行政計画 議決対象計画をはじめ、県政に重要な個別の行政計画について、調査・審査を行いました。 ※議決対象計画 ・「第 4 次三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進計画」 ・「三重の森林づくり基本計画」</p>

【取組内容】 (1) 知事等との関係～監視・評価・政策立案・政策提言～	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
<p>④特に調査・検討を要する重要課題</p> <p>県政の重要課題で、特に調査・検討を行うべき事項については、必要に応じて、特別委員会や附属機関、調査機関、検討会等を設置し、政策提言や政策立案を行います。</p>	<p>④特に調査・検討を要する重要課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「人口減少対策調査特別委員会」を平成 27 年 5 月 13 日に設置して、参考人招致を行うなど詳細な調査・審査を行いました。また、9 月 4 日には知事への申し入れを行い、新規事業に反映され、3 月 22 日には委員長報告を行いました。</li> <li>・「地方創生に関する政策討論会議」を平成 27 年 6 月 30 日に設置して、町長や外部の有識者等からの意見聴取も行って、限られた時間の中で集中的に議論しました。それらの成果を「地方創生に関する提言」としてとりまとめ、9 月 4 日に知事への申し入れを行い、人口分析や県の役割、交流人口の視点などが「三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略」に反映されました。</li> <li>・「三重県手話言語に関する条例検討会」を平成 27 年 10 月 29 日に設置して、有識者からの意見聴取や先進地視察など、条例の制定に向けた調査・検討を行いました。</li> </ul>	<p>④特に調査・検討を要する重要課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「子どもの貧困対策調査特別委員会」を平成 28 年 5 月 16 日に設置して、県内外調査や参考人招致を行うなど詳細な調査・審査を行いました。12 月 21 日にはスクールソーシャルワーカーの増員などを求めた中間報告を行い、事業費の増額に反映されました。また、3 月 21 日には児童養護施設の子どもの自立支援などを求めた委員長報告を行うとともに、3 月 24 日には知事への提言も行いました。</li> <li>・「サミットを契機とした地域の総合力向上調査特別委員会」を平成 28 年 5 月 16 日に設置して、県内調査や参考人招致を行うなど詳細な調査・審査を行いました。9 月 15 日にはポストサミットに係る意見などを中心とした中間報告を行い、新規事業に反映されました。また、3 月 21 日には観光誘客や産業振興など 5 つの観点から委員長報告を行うとともに、3 月 24 日には知事への提言も行いました。</li> <li>・「選挙区調査特別委員会」を平成 28 年 5 月 16 日に設置して、県内調査や参考人招致を行うなど詳細な調査・審査を行いました。平成 29 年 5 月 18 日には委員長から報告を行う予定です。</li> <li>・「三重県手話言語に関する条例検討会」を平成 27 年 10 月 29 日に設置して、有識者からの意見聴取や先進地視察など、条例の制定に向けた調査・検討を行いました。そのうえで、三重県手話言語条例（案）に対する意見募集（パブリックコメント）を行い、議員提出条例として上程し、6 月 30 日に全会一致で議決しました。</li> </ul>	<p>④特に調査・検討を要する重要課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「障がい者差別解消条例策定調査特別委員会」を平成 29 年 5 月 18 日に設置して、県内外調査や参考人招致を行うなど詳細な調査・審査を行いました。障がい者差別の解消だけでなく、共生社会の実現に向けた施策についても盛り込むこととし、12 月に条例案の骨格、3 月に中間案を決定しました。また、平成 30 年 4 月 4 日から 5 月 7 日までパブリックコメントを実施しました。</li> <li>・「働き方改革調査特別委員会」を平成 29 年 5 月 18 日に設置して、県内外調査や参考人招致を行うなど詳細な調査・審査を行いました。平成 30 年 2 月には、県内企業の意識改革を進めるための継続的な取り組みや、ダイバーシティに関する考え方の普及・啓発、建設業における週休 2 日の取り組みの推進や公共工事の発注時期の平準化など、働き方改革の実現に向けた委員長報告を行いました。</li> <li>・平成 29 年 5 月 15 日の「選挙区調査特別委員会」において定数及び選挙区に関して正副委員長案が提示されましたが、合意には至りませんでした。その後、議論の参考とするために、直接県民の皆さんから定数及び選挙区に係るご意見もお聴きしました。これらを踏まえて、12 月 7 日の委員会において、県南部地域が抱える人口減少等の課題に対応するため、県南部地域の議員定数を増加させる委員長案を提示しましたが、選挙制度において何が優先されるべきかという信念等の隔たりは大きく、委員会としての最終的な取りまとめを断念し、平成 30 年 2 月に調査・検討を終了しました。なお、定数及び選挙区については、委員長案とほぼ同じ内容の議員提出条例案が平成 30 年 2 月 26 日に提出され、審議の結果、平成 30 年 3 月 22 日に可決されました。</li> </ul>	<p>④特に調査・検討を要する重要課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年 5 月 18 日に設置した「障がい者差別解消条例策定調査特別委員会」が、約 1 年間の検討を経て取りまとめた条例案を、平成 30 年 6 月 29 日の本会議において、全会一致で可決しました。</li> <li>・「大規模な災害等緊急事態への県議会の対応に関する検討会」を平成 30 年 6 月 29 日に設置し、先行する議会の取組や東日本大震災を経験した県議会への調査、有識者の意見聴取などを踏まえた検討を行い、議会として必要となる対応等の基本的な考え方、行動指針の策定などについて、取りまとめました。 この取りまとめ結果を踏まえ、「大規模な災害その他の緊急事態への対応に関する三重県議会指針」の策定、「災害対策会議」の設置、緊急事態発生時における議案審議の簡素化及び災害復旧事業等の工事請負契約に関する専決処分の指定を行いました。</li> </ul>

【取組内容】 (1) 知事等との関係～監視・評価・政策立案・政策提言～	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
<p>⑤重点調査項目</p> <p>6月に策定する年間活動計画において委員会ごとの重点調査項目を定め調査・審査を行います。 (別紙 参考資料5参照)</p>	<p>⑤重点調査項目</p> <p>年間活動計画の中で定めた重点調査項目に基づいて、県内外調査を実施するなど、年間を通じて重点調査項目の調査・審査を行いました。</p>	<p>⑤重点調査項目</p> <p>各常任委員会が作成する年間活動計画の中で定めた重点調査項目に基づいて、県内外調査を実施するなど、年間を通じて重点調査項目の調査・審査を行いました。</p>	<p>⑤重点調査項目</p> <p>各常任委員会が作成する年間活動計画の中で定めた重点調査項目に基づいて、県内外調査を実施するなど、年間を通じて重点調査項目の調査・審査を行いました。</p>	<p>⑤重点調査項目</p> <p>各常任委員会が作成する年間活動計画の中で定めた重点調査項目に基づいて、県内外調査(予算決算常任委員会を除く)を実施するなど、年間を通じて重点調査項目の調査・審査を行いました。</p>
<p>⑥議員勉強会</p> <p>議員の政策形成能力の向上を図るため、全議員を対象とする勉強会を開催します。</p>	<p>⑥議員勉強会</p> <p>第1回 平成27年 7月13日 テーマ:「人口減少社会の移住・定住促進」 塩見 直紀 氏(半農半X研究所代表)</p> <p>第2回 平成27年12月17日 テーマ:「多様化する広報媒体と、その特徴を活かした効果的な広報」 北村 啓司 氏(株式会社CAP プロデューサー)</p> <p>第3回 平成28年 1月18日 テーマ:「地方創生と三重大学の役割」 駒田 美弘 氏(三重大学学長)</p>	<p>⑥議員勉強会</p> <p>第1回 平成28年9月21日 テーマ:「子どもの貧困対策について」 道中 隆 氏(関西国際大学教授)</p> <p>第2回 平成28年11月25日 テーマ:「手話の普及をめぐる現状と課題」 澤 貴之 氏(群馬大学教授)</p> <p>第3回 平成29年3月16日 テーマ:「女性の職業生活における活躍推進について」 権丈 英子 氏(亜細亜大学副学長)</p>	<p>⑥議員勉強会</p> <p>第1回 平成29年10月17日 テーマ:「働き方改革、そこが間違ってます!」 白河 桃子 氏(相模女子大学客員教授、少子化ジャーナリスト、作家)</p> <p>第2回 平成30年1月18日 テーマ:「若者と政治」 原田 謙介 氏(NPO法人YouthCreate代表理事)</p> <p>第3回 平成30年3月5日 テーマ:「地域が育てたスポーツクラブアルビレックス新潟」 田村 貢 氏(一般社団法人日本女子サッカーリーグ 専務理事)</p>	<p>⑥議員勉強会</p> <p>第1回 平成30年10月15日 テーマ:「これからの議会改革に問われるもの」 廣瀬 克哉 氏(法政大学副学長)</p> <p>第2回 平成30年12月20日 テーマ:「災害時における議会・議員の役割と取組」 鍵屋 一 氏(跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部 コミュニティデザイン学科 教授)</p>

【取組内容】 (2) 県民との関係～広聴広報～	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
<p>①議長定例記者会見 議会に係る情報発信を行うため、議長定例記者会見を月 1 回実施します。</p>	<p>①議長定例記者会見 平成 27 年度開催実績：11 回（就任記者会見を除く）</p>	<p>①議長定例記者会見 三重県議会 10 大ニュースなどを発表しました。 平成 28 年度開催実績：12 回（就任記者会見を除く） ※平成 29 年 2 月から手話通訳を導入</p>	<p>①議長定例記者会見 三重県議会 10 大ニュースなどを発表しました。 平成 29 年度開催実績：12 回（就任記者会見を除く）</p>	<p>①議長定例記者会見 三重県議会の活動 10 大ニュースなどを発表しました。 平成 30 年度開催実績：13 回(平成 31 年 4 月の実績を含む)（就任記者会見を除く）</p>
<p>②広聴広報会議 効果的な広聴広報の取組について協議・調整するため、広聴広報会議を月 1 回程度開催します。</p>	<p>②広聴広報会議 「議会広聴広報計画」の策定、「みえ県議会だより」の編集、「みえ県議会新聞」の編集、「みえ現場 de 県議会」の開催、「みえ県議会出前講座」の実施、「みえ高校生県議会」の開催準備、「傍聴者アンケート」の対応などについて、協議しました。 特に、「みえ県議会だより」については、見直しの協議を行い、平成 28 年度からは、従来の公共施設への配置に加え、新聞折込も行うこととし、紙面も新聞折込に適したタブロイド版へと移行しました。 平成 27 年度開催実績：11 回</p>	<p>②広聴広報会議 「議会広聴広報計画」の策定、「みえ県議会だより」の編集、「みえ県議会新聞」の編集、「みえ現場 de 県議会」の開催、「みえ県議会出前講座」の実施、「みえ高校生県議会」の開催、「傍聴者アンケート」の対応などについて、協議しました。また、三重県手話言語条例が平成 29 年 4 月から施行されることも踏まえ、平成 29 年度に代表・一般質問の中継映像への手話通訳挿入の試行を実施することを決定しました。 平成 28 年度開催実績：11 回</p>	<p>②広聴広報会議 「議会広聴広報計画」の策定、「みえ県議会だより」の編集、「みえ県議会新聞」の編集、「みえ現場 de 県議会」の開催、「みえ県議会出前講座」の実施、「みえ高校生県議会」の開催、「傍聴者アンケート」の対応などについて、協議しました。また、議会中継への手話通訳導入を試行し、アンケートを実施したところ、肯定的な意見が多かったことから、平成 30 年度から代表質問と予算決算常任委員会総括質疑において手話通訳を導入することを決定しました。 平成 29 年度開催実績：12 回</p>	<p>②広聴広報会議 「議会広聴広報計画」の策定、「みえ県議会だより」の編集、「みえ県議会新聞」の編集、「みえ現場 de 県議会」の開催、「みえ県議会出前講座」の実施、「みえ高校生県議会」の開催、「傍聴者アンケート」の対応などについて、協議しました。また、「みえ県議会出前講座」実施要領を、主権者教育、キャリア教育の視点等も盛り込んで改正したほか、三重県議会 Facebook ページを平成 31 年 3 月に開設し、同年 4 月から運用することを決定しました。 平成 30 年度開催実績：15 回</p>
<p>ア みえ現場 de 県議会 多様な県民の意見を取り入れる広聴機能を強化し、議会での議論に生かしていくため、県政の重要課題等を設定して、関係団体や県民に広く参加を呼びかける「みえ現場 de 県議会」を開催します。</p>	<p>ア みえ現場 de 県議会 下記のとおり 2 回開催し、議会での議論の参考にしました。 第 1 回 平成 27 年 11 月 11 日 テーマ：「若者の声を県政に」（名張市） 【高校生等 13 人（うち公募 7 人）、議員 13 人】 第 2 回 平成 28 年 2 月 5 日 テーマ：「鳥獣害に強い地域づくり」（松阪市） 【県民 10 人（うち公募 4 人）、議員 14 人】</p>	<p>ア みえ現場 de 県議会 平成 29 年 1 月 18 日 テーマ：「女性活躍の推進～中小企業の現場で～」(鈴鹿市) 【女性経営者等 6 人（うち公募 3 人）、議員 13 人】 【参考】 平成 29 年 3 月に津市内で開催された三重県中小企業レディース中央会との懇談会にも議会として積極的に参加し、多くの女性の声を聴くよう努めました。</p>	<p>ア みえ現場 de 県議会 以下のとおり 2 回開催し、議会での議論の参考にしました。 第 1 回 平成 29 年 11 月 24 日 テーマ：「文化振興」（桑名市） 【県民 6 人（うち公募 3 人）、議員 14 人】 第 2 回 平成 30 年 1 月 22 日 テーマ：「観光・交流の推進」（鳥羽市） 【県民 7 人（うち公募 4 人）、議員 13 人】</p>	<p>ア みえ現場 de 県議会 平成 30 年 11 月 19 日 テーマ：「ダイバーシティ社会の推進」（亀山市） 【県民 6 人（うち公募 3 人）、議員 16 人】</p>
<p>イ みえ高校生県議会 高校生の議会に対する関心を高めるとともに、高校生の意見を議会での議論に反映していくため、「みえ高校生県議会」を開催します。</p>	<p>イ みえ高校生県議会 平成 28 年度の開催に向けて、開催要領を決定し、参加校の募集を行いました。</p>	<p>イ みえ高校生県議会 高校生に議会活動を体験してもらうことで議会に対する関心を高めるとともに、高校生の意見を直接聴くことで議会での議論に反映していくことを目的に、下記のとおり開催しました。また、インターネットの録画中継には手話通訳を挿入し、配信しました。 平成 28 年 8 月 19 日【高校生 52 人（16 校）、議員 19 人、知事、教育長】</p>	<p>イ みえ高校生県議会 平成 30 年度の開催に向けて、開催要領を決定し、参加校の募集を行いました。</p>	<p>イ みえ高校生県議会 高校生に議会活動を体験してもらうことで議会に対する関心を高めるとともに、高校生の意見を直接聴くことで議会での議論に反映していくことを目的に、下記のとおり開催しました。また、インターネットの生中継には手話通訳を挿入し、配信しました。 平成 30 年 8 月 21 日【高校生 40 人（11 校）、議員 14 人、知事、教育長（代理）、環境生活部長】</p>

【取組内容】 (2) 県民との関係～広聴広報～	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
<b>ウ みえ県議会出前講座</b> 学校からの申込みを受けて、児童、生徒、学生に対して、三重県議会の仕組み等を学校に出向いて説明し、質疑応答を行う「みえ県議会出前講座」を実施します。	<b>ウ みえ県議会出前講座</b> 学校からの申し込みを受けて、1月19日から3月1日の間に、計8校361人の児童生徒に対して、実施しました。実施後のアンケートでは、「とてもよかった・よかった」が92%と肯定的な結果でした。	<b>ウ みえ県議会出前講座</b> 学校からの申し込みを受けて、7月8日から2月21日の間に、計8校453人の児童生徒に対して、実施しました。実施後のアンケートでは、「とてもよかった・よかった」が86%と肯定的な結果でした。	<b>ウ みえ県議会出前講座</b> 学校からの申し込みを受けて、7月7日から2月27日の間に、計16校1,136人の児童生徒に対して、実施しました。実施後のアンケートでは、「とてもよかった・よかった」が86%と肯定的な結果でした。	<b>ウ みえ県議会出前講座</b> 学校からの申し込みを受けて、9月26日から2月19日の間に、計8校968人の児童生徒に対して、実施しました。実施後のアンケートでは、「とてもよかった・よかった」が83%と肯定的な結果でした。

【取組内容】 (3) 常任委員会の活動	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
<b>【委員会活動の振り返り】</b> 議会活動の中心的な役割を果たす各常任委員会において、委員会活動が「監視・評価・政策立案・政策提言」の充実に寄与できたかという観点から、委員会（予算決算常任委員会の場合は理事会）による自己評価を毎年行います。 (別紙 参考資料4 参照)	<b>【委員会活動の振り返り】</b> 2月定例会月会議の際に、試行として委員会活動の自己評価を行いました。	<b>【委員会活動の振り返り】</b> 2月定例会月会議の際に、委員会活動の自己評価を行いました。	<b>【委員会活動の振り返り】</b> 2月定例会月会議の際に、委員会活動の自己評価を行いました。	<b>【委員会活動の振り返り】</b> 2月定例会月会議の際に、委員会活動の自己評価を行いました。